

## 第5次春日井市行政改革大綱の実施状況に対する行政改革推進懇話会委員の主な意見（実施期間終了時）

平成30年8月29日に開催された行政改革推進懇話会において、委員から次のような意見が出されました。

### ◇視点1の指標「業務改善運動取組件数」について

- ・ 各所属から1件出すというような義務的なものになってしまっていないか。件数は指標として実際重要ではなく、取組がどこまで所属で役立っているのか、市民サービスにプラスになっているのかということの評価する指標を考えた方がいいと思う。
- ・ 全体として、未達成の指標が4項目であるというのは、よくやられていると感じた。問題は未達成の指標をどうするかで、取組件数が未達成ということは、手段と目的を取り違えていなかったということではないかと思う。強制的に件数さえ多くすれば指標は達成できたのであるから、未達成になったということは逆にそうしなかったということではないか。ただ、重要なのは質の評価であり、取り組んだ側が意図したことと、受け手(市民)がどの程度満足したかということを質の評価として検討したらいいのではないか。また、各取組内容が最終的にどこまで進捗したか、達成したのかということも評価してはどうか。

### ◇視点3の指標「職員1人当たりの時間外勤務時間」について

- ・ ニュータウン創生課など、立ち上げて間もない部署は時間外が増加することもあると思うが、期間が限定されているものなのか、恒常的なものかという点で分けるのも必要であると思う。
- ・ ノー残業デーを徹底することにより、職員が疲弊してしまうことを心配している。時間外勤務が減ったことによって、ストレスがたまってしまわないように気を使ってもらいたい。

◇視点7の指標「寄附の件数」について

件数が減ってきているのは少し問題であると感じる。また、お礼品の種類が多いと感じたので、見直す必要があるのではないか。また、クラウドファンディングもいい取組である。既に取り組んでいる自治体もあり、遅れをとらないように活用したらいいと思う。

◇視点8の指標「広告による歳入の確保」について

応募がなかった媒体の内容を見ると、封筒や通知書の類が多く、媒体の選び方を見直す必要があるのではと感じる。